

●人気高い秋のモミジ

北郷村といえば、「宇納間地蔵」。旧暦正月二十四日の前後三日間の大祭には、県内はもとより熊本、大分県、四国などからの参拝客であふれる。火切地蔵と呼ばれ、消防団関係者の参拝が多い。

現在のように車が普及していなかった時代には、代表者が夜半に村を出て、歩いて宇納間地蔵に参り、火切地蔵の札をもらって持ち帰り、人々に配った。札は家の台所、炭焼き窯、シイタケの乾燥小屋など、火を使う場所に張られ、防火のお守りとされた。

宇納間地蔵堂は、全長寺境内の三百六十五段という長い石段を登った所にある。日本マラソン界の先駆者で、オリンピックにも出場した広島庫夫氏（元旭化成・一九二八―一九六六）は同村の出身。青年時代、一日の仕事を終えた後、村内を一周して全長寺までくると、この長い石

段を駆け上り、足腰を鍛錬したと伝えられている。

全長寺は、天正六（一五七八）年、豊後の大友宗麟の日向侵攻の際火災に遭った。元禄元（一六八八）年再興され、江戸時代は延岡藩主の崇敬があつかった。

宇納間は、この門前に開けた集落である。参道入り口の販売所には特産品が並ぶ。団子、漬物、シイタケ、梅干し、茶、干シタケノコ、地蔵おこし、宇納間備長炭、めんば（飯器）、竹ぼうきなど山里の素朴な品がそろう。

宇納間から車で約三十分。日之影町、諸塚村境に向かって、通称「あじさいロード」を走ると、「スカイロτζ銀河村」に着く。標高約千メートル。水洗トイレ、温水シャワー、キッチン完備のコテージがある。

ここから車で五分の所に一九八八（昭和六十三）年完成の中小屋天文台「昴ドーム」。リッチ

ー・クレチアン式の反射望遠鏡を備え、透明度は抜群。「頭上注意・星が降ります」のキャッチフレーズが面白い。

同天文台のそばを通るのが「六峰街道」。北方町を起点に五ヶ瀬町まで約六十キロ。標高千メートルの尾根を走る。六峰は東から速日の峰（八六八メートル）、九左衛門峠（一、一〇〇メートル）、真弓岳（二、〇八〇メートル）、諸塚山（二、三四一メートル）、赤土岸山（一、一六九メートル）、二上山（九九八メートル）。八九（平成元）年に開通した。自然満喫のロードとして、特に秋のモミジの季節は人気が高い。九州山脈のパノラマコースを楽しんだ後、スカイロτζで星空のロマンスを語る。ぜひいたくなが時間がここにはある。



六峰街道からの眺め。沿線には四季折々の自然の美が展開する